

【実行計画におけるテーブルへの効率的なアクセス方式】

実行計画におけるアクセス方式の種類

アクセスパスの種類	説明
全表スキャン	すべてのレコードにアクセスします
ROWID スキャン	データの格納場所を表す ROWID を指定してアクセス
索引スキャン	索引を使用してスキャンします
クラスタ・アクセス	クラスタ・キーを索引クラスタから取得するのに使用します
ハッシュ・アクセス	ハッシュ値によってハッシュクラスタに配置された行を取り出す
サンプル表スキャン	SAMPLE 句を指定してのアクセス

Select 文でのテーブル結合方法と実行スピードの関係

結合方法	有効なパターン	コスト	特徴
ネステッド・ループ結合	結合する一方のテーブルのデータ数が少ない時	データ量が増加すると著しく増大	ターンアラウンドタイムに優れる
ハッシュ結合	結合するテーブルが大きい時	一定	スループットが一定に保てる
ソート/マージ結合	2つのテーブルが等価結合以外での結合の時	高い	等価結合以外の時に効率が良い

テーブルの結合順序の選択基準

テーブルの結合順序は、基本的に件数が少ないテーブルを先に結合する

結合順序の違いによるコストの差の例)

テーブル A : 10 件

テーブル B : 90,000 件

結合順序	コスト
テーブル A → テーブル B	252
テーブル B → テーブル A	約 630,000